ラのススメ

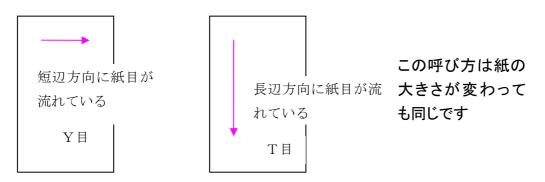
暑さ寒さも彼岸までと申します。この頃はめっきり秋の気配ですね。三週間ほ ど前まで、汗だくだったのに最近は長袖のシャツです。こうなると、温泉が恋 しいですね。

今回は**勘違いしやすい紙目**の話し

実際に印刷機械や加工の機械を使う人には当たり前のことですが、最近ではネット 発注なども増え基本的な知識の少ない方々が作業につくことも多くなってきたので、う かつに縦目横目といえなくなりました。

そもそも紙目とは
紙漉工程で細かい網に材料をすくいあげて広げる際に、網目に 沿って繊維が並びやすく、これが紙目の大元です。その後出来上がった紙は裁断さ れ この作業でT目(縦目)Y目(横目)と切り分けられます。

基本的に短辺方向に紙目が流れているものをY目長辺方向に流れているものをT目 としています。紙が横長に置いてあるから横目じゃありません。



さて 紙を注文する 或いは電話で打ち合わせをする際に、勘違いし易いのも この 紙目です。例えばA3で4頁分(2つ折りで、A4 仕上がり)のチラシを印刷する場合は 紙の注文は『A3 横目』となります。すると二つ折りして出来上がったチラシはA4縦目 になっているわけです。

紙目通りなら順目 紙目に逆らっている場合は逆目と呼び分けますが、この紙目は 加工する際に、極めて重要な要素です。順目ならば、折り易く ミシンの切れ味も良く その他の加工も順調でトラブルはありません。しかし逆目になると 紙の波打ちも大き く しわも出やすく 本も反ってしまい 上製本に関しては加工できない事も起こります たかが紙一枚 されど紙一枚ですね。

今回はお話が長くなってしまいましたのでしまり。スミマセン m()m